

平成16年度 和歌山県文化功労賞

かさ はら まさ お
笠 原 正 夫

住 所：和歌山県海草郡下津町

出 身 地：和歌山県有田市

生 年：昭和9年

◎業績及び経歴

昭和31年に和歌山大学学芸学部を卒業し、和歌山県内の小・中・高等学校の教諭として積極的、指導的に活動する傍ら、昭和50年に和歌山大学大学院経済学研究科聴講生として安藤精一教授に日本経済史の指導を受ける。

昭和52年より和歌山県企画部県史編纂室に勤務し、和歌山県史の編纂事務に携わる。昭和58年には和歌山県史編纂委員会専門委員となり、県史「近世」の「水産業の発展」や「漁業政策の転換と漁村」等を担当執筆される。

その後も、和歌山県同和運動史編纂専門委員や、和歌山県教育委員会編集のふるさと教育副読本『わかやまDE発見!』の編集委員長を務めるなど、県行政の様々な分野で積極的に貢献され、現在も和歌山県教育史の編纂に携わっている。

氏の歴史研究に対する真摯な態度や業績は、高く評価されており、和歌山県内の市町村史の編纂においても、博識をいかんなく発揮され、海南市史編纂委員長、田辺市史編纂専門委員、下津町史編集委員、上富田町史専門委員、本宮町史編纂委員等々を歴任され、現在も複数の市町村史編纂に取り組んでいる。

紀州の地域史、紀州藩の歴史に精通された成果として『近世漁村の史的研究』（平成5年）、『紀州藩の政治と社会』（平成14年）、街道の日本史『南紀と熊野古道』（平成15年 共著）、『和歌山県の歴史』（平成16年 共著）等の著書を出版されている。

長年にわたり、紀州をフィールドに近世史の研究に尽力され、氏が本県の歴史研究に果たしてき

た功績は多大である。

■現在

鈴鹿国際大学非常勤講師

和歌山県教育史編纂副委員長

古座川町史編纂委員長

大塔村史専門委員長

熊野川町史編纂委員

橋本市史編纂委員